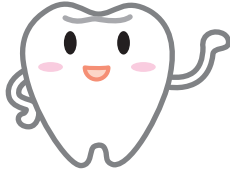


はやした歯科新聞

8
Aug

<http://www.hayashita.jp/>



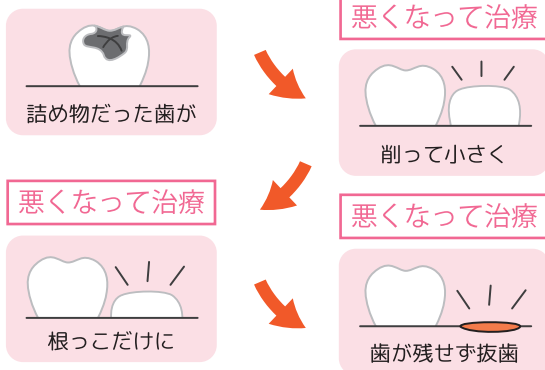
歯を守るだけではありません

定期検診を受けるメリット

歯みがきなどのホームケアと歯科医院でのプロケアの両立が大事

「悪くなってからの治療」は歯の寿命を短くする

「歯科の定期健診を受けている」という方はまだまだ少数派で、歯に不具合を感じた時に治療に行くという方が多いようです。しかし、「悪くなってから治療」を繰り返しては、歯の寿命を短くするだけです。歯は一度失ってしまったら、再び元に戻ることはありません。定期検診を受けることで歯を長持ちさせお口の健康を維持することは将来の体の健康面、費用面などに良い影響をもたらします。



お口の健康が全身の健康につながる

近年の研究で歯の健康は全身の健康と関連することが分かってきています。例えばむし菌や歯周病菌が血管の中に入り込み、血流に乗って心臓や脳の血管を詰まらせる原因になる場合もあります。定期健診で衛生的なお口の環境を整えることが全身の健康につながります。

生涯の医療費を抑える

“定期検診に通うと医療費がかかる”と思う方も多いのですが、治療が必要な箇所を早期に発見できるため、症状が進行してからの場合より治療も簡単で費用も安くすむ場合が多いのです。また、お口の健康が体の病気の予防にもつながり、医療費も抑えられます。

脳の活性化につながる

「噛む」という刺激は脳に伝わります。歯を多く失うと噛む力が弱くなり、老人性認知症を発症するリスクが高くなるということがわかっています。歯をできる限り残すことは将来の生活に大きく影響します。

噛む力を維持できる

噛む力は歯を1本失っただけでも低下してしまいます。噛む力が弱くなるとスポーツや力仕事をするときなどに十分な力を発揮することができなくなってしまいます。天然の歯を残すことで噛む力を維持できます。



悪くなってから治療のデメリット

1. 治療が痛くなる

むし菌が進行して痛みが強くなっていると麻酔が効かず、痛みを耐えながら治療を受けなければならないことがあります。歯周病も進行しているほど、治療時に痛みを伴いやすくなります。

2. 歯を失う

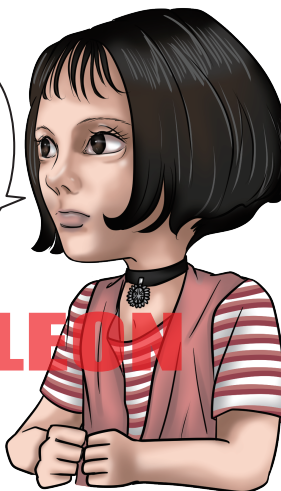
むし菌治療のたびに歯を削り、どんどん歯が小さくなり最後は歯を残せなくなります。歯周病も重症化すると歯を支える骨がなくなり歯を失うリスクが高くなります。

3. 治療回数が増える

初期のむし菌や歯周病であれば数回の治療で終わりますが、むし菌が進行し神経にまで達して炎症を起こしたり、歯周病が進行していると治療期間も長くなり通院回数も増えます。

4. 治療費用がかかる

歯が悪くなってから治療の場合、治療も複雑になり通院回数も増えます。また、むし菌が進行し削る部分が多くなると、それを補うために大きな詰め物や被せ物が必要になり費用の負担も増えます。



一般歯科、予防歯科、口腔外科、インプラント、審美歯科、ホワイトニング

はやした歯科医院

〒854-0043 長崎県諫早市立石町22番8号

TEL&FAX: 0957-32-8181

